

第 61 回数理社会学会大会

(2016-03-17 上智大学)<sup>1</sup>

# 濫用される国際比較調査と日本の世論形成

International Fertility Decision-making Survey

と少子化社会対策大綱

田中 重人 (東北大学)

<http://tsigeto.info/16z>

# 報告要旨訂正

## 副題:

International... Survey → Study

## 1 頁 9 行目:

5 月 30 日 の「NHK スペシャル」 → 6 月 23 日

## 3 頁「文献」8 行前:

(に「日本はトルコの次に知識が低い」などと書き加えた  
もの) → **削除**

# IFDMS とは

## International Fertility Decision-making study (2009-2010)

### Starting Families 調査とも (資料 1)

- ・ Cardiff Univ (J. Boivin) + Merck-Serono (製薬会社)
- ・ 18 か国、12 言語
- ・ 18-50 歳、パートナー同居、妊娠試行 6 月以上
- ・ オンライン調査、パネル、クリニックでの配布

# 少子化社会対策大綱 (2015)

## きめ細かな少子化対策の推進:

妊娠や出産など……教育や情報提供……

学校教育において、正しい知識を教材に

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/law/taikou2.html>

# 数値目標

## 少子化社会対策大綱 別添 2

「妊娠・出産に関する医学的・科学的に正しい知識についての理解の割合」

2009 年に **34%**



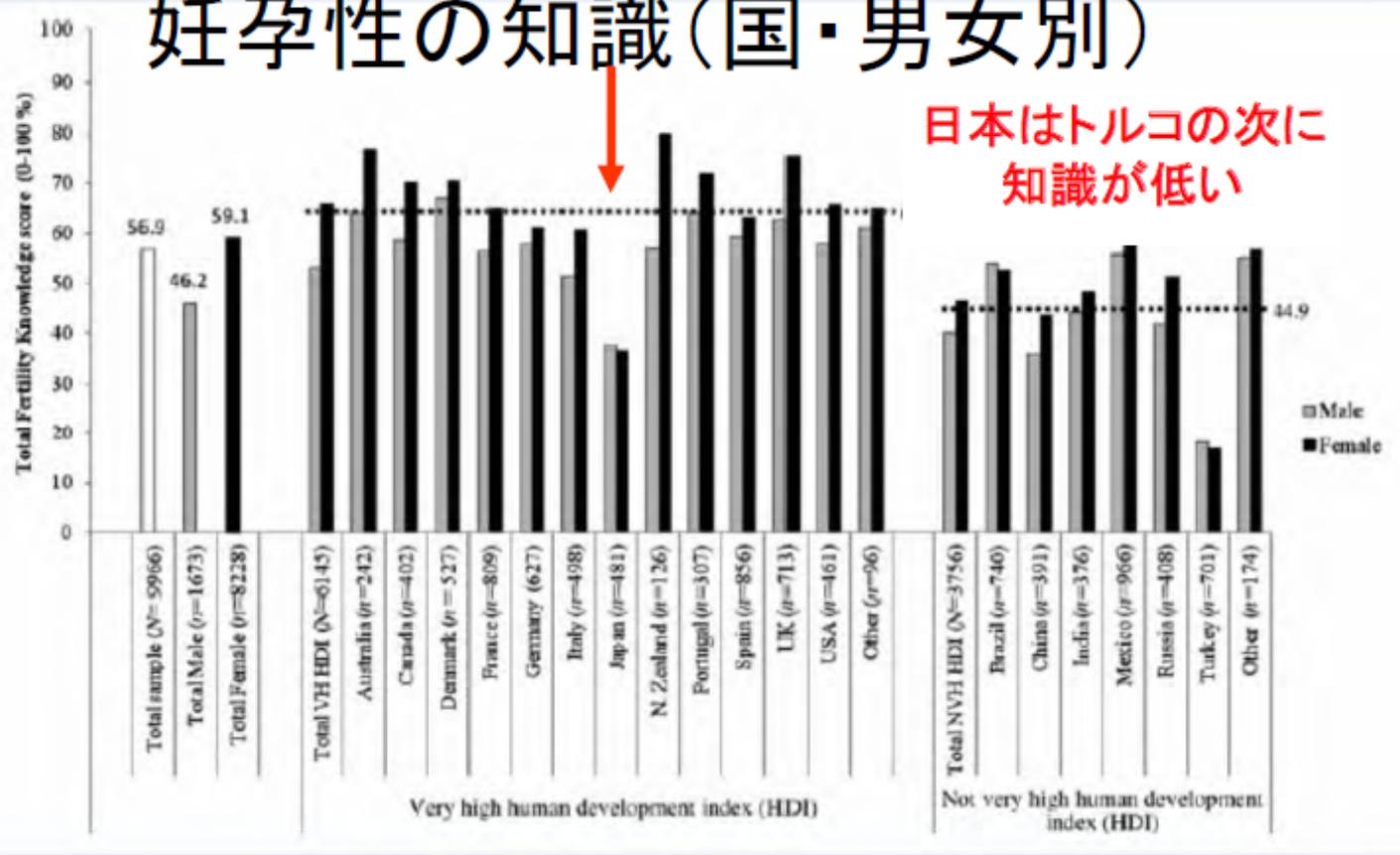
2020 年までに **70%**に

[http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/law/pdf/shoushika\\_taikou2\\_b2.pdf](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/law/pdf/shoushika_taikou2_b2.pdf)

# 審議過程の資料

妊孕性の知識教育が必要である

## 妊孕性の知識(国・男女別)



新たな少子化社会対策大綱  
策定のための検討会 (第3回  
2014年12月12日)

齋藤英和委員提出資料

[http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/taikou/k\\_3/pdf/s2-1.pdf](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/taikou/k_3/pdf/s2-1.pdf)

## 報告内容

# IFDMS 調査の問題点

対象者／調査票／作成過程／分析

## 世論形成

研究者の「営業」活動／メディア／

政治団体としての学会

Bunting L., Tsibulsky I, and Boivin J (2013)  
“Fertility knowledge and beliefs about  
fertility treatment: findings from the  
International Fertility Decision-making  
Study”.  
*Human Reproduction*. 28(2): 385–397  
DOI:10.1093/humrep/des402

**その他の情報源は報告要旨と資料を参照**

# 問題点 (1) 対象者

## 対象 18 か国中…

**日本・ロシア:** 社会調査パネル

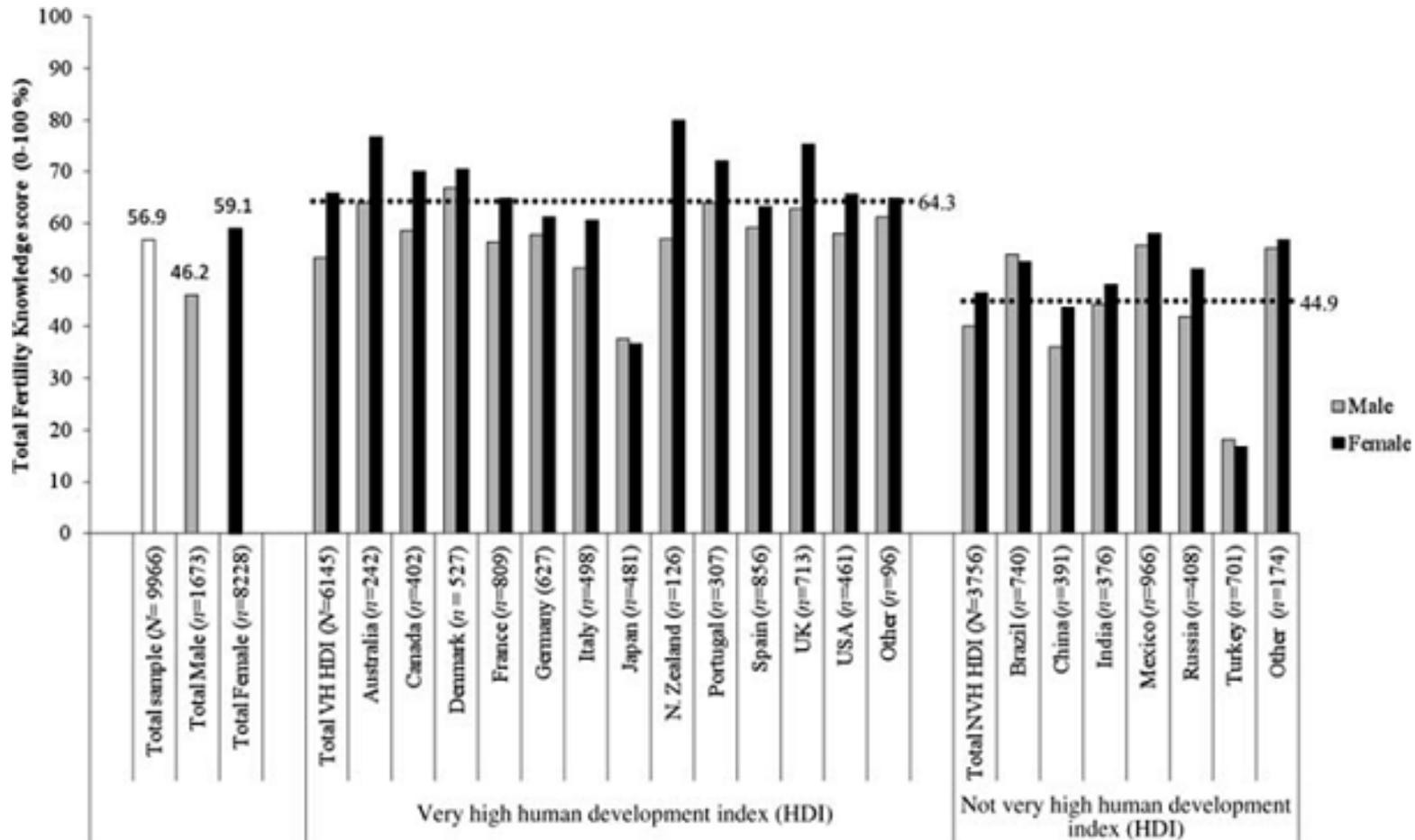
**インド・中国:** 社会調査パネル + クリニックでの配布

**その他:** Google/Facebook 広告、不妊関連サイト

高橋さきの (2015) 「「妊娠しやすさ」グラフはいかにして高校保健・副教材になったのか」 SYNODOS.

2015.09.14 <http://synodos.jp/education/15125>

# 対象者 + 言語による差?



Bunting, L., I. Tsibulsky, and J. Boivin (2013: 392)

## 情報はどこに？

- 論文、報告書等に記載なし（資料 1）
- <http://www.startingfamilies.org>  
→ 転送先に情報なし
- <http://www.startingfamilies.com>  
→ 期限切れ

# 日本語版調査票

## Boivin 教授から直接入手 (PDF)

- 全 17 ページ 64 項目
- 最後まで答えないと有効票にならない
- 男女別だが、内容はほとんど同一

# 調査票全体の構成

**I: 背景**

**II: 親となること**

**III: 受精および妊娠の試み**

---

**IV: 不妊治療関連意識**

**V: 社会状況・健康・態度等**

## 問題点 (2) おかしな日本語

妊娠とは受胎能力、つまり女性が妊娠し、  
男性が父親になる能力を意味します

# 年制大学

**〔最終学歴の選択肢〕**

親になることを決定した時、以下の要素は  
どのくらい影響を与えましたか。

……教育／トレーニングを終了したい

推奨されれば、私の共同体の大多数は不妊  
治療を（何度でも）私達にしてもらいたい  
のではないかと思う

〔8 ページ前に「(共同体とは友人、同僚、隣人を指します)」という注釈あり〕

〔「共同体」をふくむ同様の質問文多数〕

あなたと配偶者が子供をもうけようという試みを始める前の6ヶ月間に喫煙しましたか？

## 男性票の項目

あなたご自身はどのくらい受胎能力があると思いますか？

ご自身がまだ妊娠していないと思われる潜在的  
理由……

私が妊娠していないのは……

私が過去に行なった（又は、行なわなかった）

ことが理由

## 問題点 (3) CFKS

### Cardiff Fertility Knowledge Scale

13 項目の合計 (報告要旨末尾)

- 正答 → 1 点
- 誤答 → 0 点
- 「分らない」 → 0 点

**質問がわかりにくいと点数が下がる**

# CFKS 日本語版の問題点

避妊法を用いず **1年間**定期的に性交をして妊娠しない場合に、夫婦は不妊であると分類される

A couple would be classified as infertile if they did not achieve a pregnancy after **1 year** of regular sexual intercourse (without using contraception).

※ 国によって基準がちがう

女性が **13 キロ以上太りすぎている**と**妊娠できないかもしれない**

If a woman is **overweight by more than 2 stone (13 kg or 28 pounds)** then she **may not be able to get pregnant.**

女性は 36 才を過ぎると受胎能力が落ちる

A woman **is less fertile after** the age of 36 years.

月経が無い女性でも受胎能力がある

| 25

A woman who **never** menstruates is still fertile.

夫婦 10 組のうち約 1 組は不妊である

About 1 in 10 couples are infertile.

※ 分子／分母は？

健康なライフスタイル**であれば**受胎能力がある

Having a healthy lifestyle **makes** you fertile.

男性が精子を産生するならば**授精能力がある**

If a man produces sperm he is **fertile**.

男性が思春期後におたふくかぜに罹った場合には、  
後で授精能力の問題につながる**可能性が高い**

If a man has had mumps after puberty  
he is **more likely to** later have a fertility problem.

性病に罹ったことのある人は受胎能力が**減少する**

People who have had a sexually transmitted disease **are likely to have reduced** fertility.

男性が勃起できることは、授精能力があることを**示す**

If a man can achieve an erection then it **is an indication** that he is fertile.

## 問題なさそうなもの

喫煙は女性の受胎能力を低減する

喫煙は男性の授精能力を低減する

今日では 40 代の女性でも 30 代の女性と  
同じくらい妊娠する可能性がある

## キャリアオーバー

(3) 喫煙は女性の受胎能力を低減する

(4) 喫煙は男性の授精能力を低減する

(5) 健康なライフスタイルであれば

受胎能力がある

〔英語版では 8 番目〕

## 問題点 (4) 調査票作成過程

- 英語で作成 → 予備調査
- 翻訳 → 地元専門家がチェック
- 調査実施

**英語以外は予備調査なし**

**比較困難な項目も再考されない**

## CFKS 問題点 (5) 分析

- 誤答と「分らない」の区別なし
- 項目別の検討なし
- 言語別の検討なし
- 信頼性係数の最小値 0.41 (トルコ)

# 改良するとどうなるか

## 東京都文京区「結婚・妊娠・出産・育児に関する意識調査」

- 2014年11-12月、郵送調査
- 20-45歳の区民8000を無作為抽出
- 回収率26.3%

[http://www.city.bunkyo.lg.jp/kyoiku/shussan/ninshinshussan/\\_18818/isikityousa.html](http://www.city.bunkyo.lg.jp/kyoiku/shussan/ninshinshussan/_18818/isikityousa.html)

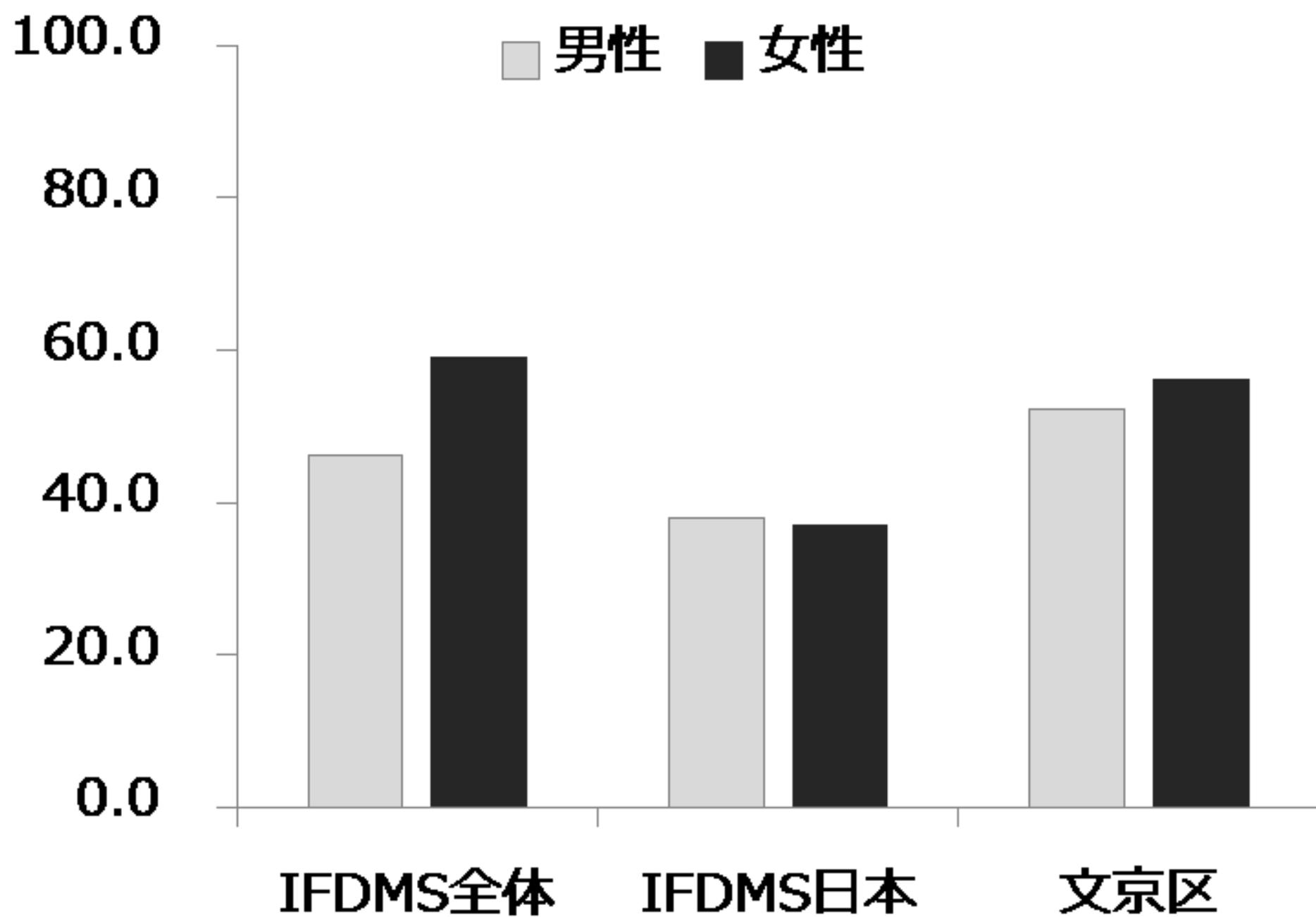
# 文京区調査の 13 項目

## 「カーディフ妊孕性知識スケール」(非公開)

- CFKS 英語版配列と同じ
- IFDMS と同一ではない (前田恵理)
- 調査票全体はまともな日本語
- 男性 52.3%、女性 55.7%

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/var/rev0/0107/1736/20157289331.pdf>

および文京区、前田氏への問い合わせによる



# IFDMS 問題点まとめ

- 対象者のちがい
- 調査票作成
- 翻訳
- 分析

→ わかってないはずはない

# 研究者自身の売り込み

## J. Boivin 来日 (2011 年)

- 記者勉強会 (2月9日)
- 国会内講演 (2月10日): 野田聖子、小淵優子ら

## ESRC への Impact Report

<http://www.researchcatalogue.esrc.ac.uk/grants/RES-355-25-0038/read>

NHK スペシャル (2012 年 6 月 23 日)

| 41

## 産みたいのに産めない: 卵子老化の衝撃

Boivin 教授インタビュー (以下は書籍から)

この調査で、日本人の男女は妊娠についての知識が  
極めて乏しいことが明らかになった。

女性は 36 才を過ぎると受胎能力が落ちる



「女性は三十六歳を過ぎると受胎能力が落ちるか」

**今日では** 40代の女性でも 30代の女性と

同じくらい妊娠する可能性がある



「四十代の女性でも三十代の女性と  
同じくらい妊娠する可能性がある**か否か**」

女性が 13 キロ以上太りすぎていると  
妊娠できないかもしれない



女性の肥満が不妊を招くことを  
正しく答えられた人は……

性病に罹ったことのある人は  
受胎能力が減少する



性感染症が不妊の原因となると  
答えられた人……

# 産婦人科関連団体

栗林靖 (2014年9月10日) 記者懇談会

「産婦人科医からの少子化に対する警告」

[http://www.jaog.or.jp/all/document/79\\_140910.pdf](http://www.jaog.or.jp/all/document/79_140910.pdf)

安達知子 (2015年7月8日) 記者懇談会 (日本記者クラブ)

「性教育 15歳以下の望まない妊娠・出産ゼロを目指す」

[http://www.jaog.or.jp/all/document/89\\_150708ta.pdf](http://www.jaog.or.jp/all/document/89_150708ta.pdf)

# 木下勝之（日本産婦人科医会会長）（2015）

- 子どもに妊娠・出産・育児の知識を植え付け
- 産婦人科医を学校医に
- 母親への性教育

木下勝之「児童・生徒に対する適切な妊娠・出産・育児の学校教育の充実を：  
新しいいのちの誕生のために」『日本産婦人科医会会報』776 [67(6)]: 1-2.  
[http://www.hokenkai.or.jp/kaiho/pdf/0097\\_312.pdf](http://www.hokenkai.or.jp/kaiho/pdf/0097_312.pdf) からの転載



# ボーダレス時代の社会調査濫用

- 海外の自然科学系学会で権威付け
- 言語の壁
- 学術団体の政治利用